

【1】要支援者情報の把握・共有

救急医療情報キットを活用した高齢者等の生活状況調査 (美浜町)

基礎情報

実施地域	美浜町全域
実施主体	美浜町
所在地	美浜町郷市25-25
代表者	町長 山口治太郎



要支援者の定義

一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、障害者 等

事業の概要

- ・ 民生委員が「救急医療キット」配布とあわせて高齢者等の生活状況調査を実施。
- ・ 万一の緊急事態が起こった場合に備えて、かかりつけ医や服薬情報、緊急連絡先を記入した用紙を専用のボトルにいれ、冷蔵庫に保管する。なお、ボトルが冷蔵庫にあることを知らせるステッカーを作成し、玄関と冷蔵庫に貼り付けている。

情報の共有者

町福祉課、高齢者支援センター、民生委員

情報の共有方法

複写式の情報掲載用紙の1枚をボトルの中に入れ、もう一枚を町が保管している。
また、この内容を要支援者台帳システムに登録し、そこから出力される情報シート、マップを関係者で共有する。

事業の実績、成果

- ・ 救急キットの配布数：967個（平成24年3月までの配布数）
- ・ 要支援者登録人数：706人

工夫した点

民生委員が直接配布し説明することで、日頃訪問できないところへ訪問するきっかけ作りとし、民生委員と住民とのよにより信頼関係を築くことができるように工夫をした。

事業の財源

キットの初回購入分は、平成23年度の県補助金を活用（地域支え合い体制づくり事業）

その後、新たに購入する分については、町の一般財源で対応している。

課題

緊急連絡先等情報シートの内容が変更した場合について、共有する情報を迅速に更新することが課題。

今後の目標

引き続き、必要とする高齢者にキットを配布していく。
キットの情報の更新のしくみを検討する。